

質問事項

- ◆山田府馬地区(四ツ塚)の産業廃棄物等不法投棄
- ◆再生土・残土の搬入禁止条例制定に向けた取り組み
- ◆学校給食費の無償化に向けた取り組み
- ◆新型コロナに対する市の取り組み

うい しょういち 議員

宇井正一

学校給食無償化、 来年1月 中学3年生より実施へ



質問事項

- ◆学校の統廃合
- ◆災害時対応

藤木 裕士

ふじき ひろのり 議員

ペット同行避難所について



問 ペットは、家族です。その家族が避難所に入ることが許されないとすれば、避難をやめる、もしくは躊躇するというのは人間として当然の反応であると思います。そうした方々の不安を払拭するためにも、市には積極的にペットの同行避難の仕組みづくりを進めていただきたいと考えます。災害時のペット同行避難について市の基本的な考えと現状の対応について。

答 国において、人とペットの災害対策ガイドラインを改定しており、この中で、飼い主が自らの責任の下、災害を乗り越えてペットを適切に飼育し続けること、自治体が行う対策の目的は、飼い主による災害時の適正飼育を支援すると同時に、ペットをめぐるトラブルを最小化させ、動物に対して多様な価値観を有する人々が共に災害を乗り越えられるように支援することとされています。市としては、このガイドラインを参考に対応しています。

問 ペット受入場所の指定・ペット同行専用避難所の設定は可能か。

答 市において、ペット同行者専用の避難所は設置していません。避難所の運営が長期にわたる場合、飼い主が相互に協力してペットの管理を行うことが必要となります。また、避難については、安全地域に所在する親戚や知人宅へのペットの同行避難を検討していただくといった呼びかけも大変重要であると考えております。

問 学校給食は、子どもの成長にとって大切な教育的要素であります。コロナ禍で、児童生徒の貧困化が急速に進んでいます。憲法では、義務教育はこれを無償とすると規定しています。香取市における取り組み状況は。

答 現在、実施している在学第4子以降の給食費無償化に加え、高校受験などを控える保護者の負担を軽減するため、中学校3年生を対象とした無償化を実施した上で、財源の安定的な確保と併せて段階的に無償化の実施範囲を拡大させながら、最終的に完全無償化を目指して取り組んでいきます。

問 府馬地区の産業廃棄物等の不法投棄に対する香取市、千葉県、農業委員会の行政指導は。不法投棄者が放置したまま、何ら対処しないで逃げ切らないように指導の強化を。

答 これまで県と連携し、行為者との面接や指導の確認を行っており、農業委員会および香取農業事務所による農地法に基づく指導のほか、搬入土砂等に関する報告並びに撤去に関する報告書の提出などを求めました。



学校給食センター

学校の統廃合について

問 小見川東小学校の保護者へのアンケートの内容と結果は。

答 小見川東小学校は、本年度の児童数が81人で、3年生が0人となっていることから、統合に関して、保護者の皆さまの考えを伺うため、在校児童の保護者64名及び、就学前の保護者25名を対象にアンケートを行いました。91%の皆さまに回答をいただきました。その結果、小見川東小学校の統合について、統合は必要ないが約57%、統合は必要が約43%となり、統合反対が半数を上回ったことや、これまで、他校で行ってきた統合への地元協議の経験を踏まえ、今回の学校再編は見送ることとしました。



小見川東小学校

残土・再生土規制条例制定へ前進

問 残土規制条例案は、再生土による埋め立ては禁止、周辺同意は500メートル以内の居住者等の8割以上の同意が必要など、重要な要件が盛り込まれています。制定に向けた進捗状況は。

答 市においては、再生土等による埋め立てが平成26年頃から始まり、市民からはさまざまな問題や不安が寄せられてきました。現在、着実に準備を進めており、条例制定により市民の健康や生活の安全を確保するとともに、生活環境の保全に対する市の姿勢を示していきます。

問 新型コロナを封じ込めるには、行政・医療・保健機関、住民自身の取り組みの協力体制が必要ですが。市の対応は。

答 県において検査キット配付・陽性者登録センターを設置しておりますが、市としてはこの周知に努め、発熱外来の負担軽減や症状のある方などの支援に結びつけていきたいと考えております。PCRの検査体制の促進については、今後、香取保健所などと検討していきたいと考えております。また、ワクチン接種率の向上については、3回目接種を受けていない方へ接種の機会を提供するため、若年層限定の臨時集団接種を実施する等の取り組みを行っています。